



日本未病 システム学会 学術総会 19th

プログラム・抄録集

テーマ

地域コミュニティと
未病

会長: 森本 茂人
(金沢医科大学)

Japan Mibyou System Association

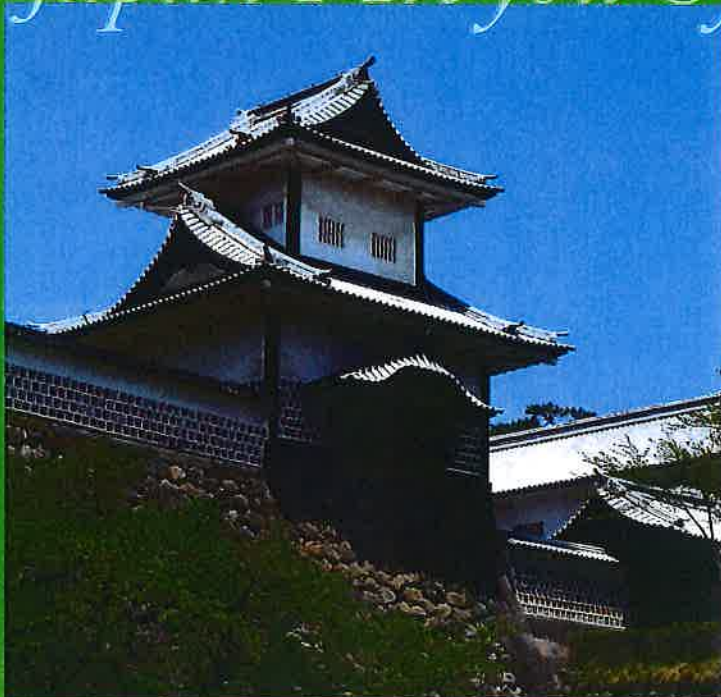
2012^年 平成24年

10/27^土 28^日

会場 金沢勤労者プラザ

石川県金沢市北安江3-2-20
TEL.076-221-7771

●JR金沢駅西口より徒歩10分



Polyherb supplement 美露仙寿の冷えに対する効果

1) 崇城大学薬学部、2) (株)国際漢方研究所医療学術部門

○横溝 和美¹⁾、石川 文佳¹⁾、周 建融¹⁾、
中嶋弥穂子¹⁾、國香 清²⁾、宮田 健¹⁾

【目的】 近年、冷え症を訴える人が増加しており、男女を問わず出る症状ではあるが特に女性が半数を占めているといわれている。冷え症により身体が冷えると手足のむくみや肩こりなど様々な症状が引き起こされ、日常生活に及ぼす影響が大きくなる。冷え症は東洋医学でいえば“未病”の状態であり、未病の状態から治療することで、これから起こりうる疾患の予防にも繋がり、現代社会において留意しておくべきことである。美露仙寿は、枸杞子、サンザシ、余甘子、菊花、鹿角霊芝、大棗およびヨクイニンの抽出エキスによって構成される健康飲料であり、我々は、マウスを用いた実験系において、美露仙寿の抗疲労効果、抗酸化活性、免疫賦活化効果や腸内フローラバランス改善効果などを明らかにしてきた。そこで今回、体の機能改善効果が期待されている美露仙寿およびその成分である枸杞の冷えに対する効果を検討した。

【方法】 実験動物には7週齢の雄性ddYマウスを用いて、美露仙寿(1%,10%)またはクコエキス(1%,10%)を含有した飼料を2週間与え飼育した。冷えの状態のモデル作成としてマウスにペントバルビタールを腹腔内投与後、12℃の水に頸部まで3分間浸水させることにより冷水負荷試験を行い、サーモグラフィーによるマウスの皮膚表面温度の変化、熱電対温度計による直腸温度の変化を経時的に観察した。また、レーザードップラー血流計を用いてマウスの足底部及び尾部の血流量を測定した。

【結果】 美露仙寿及び主成分であるクコエキスを含有した飼料をマウスに1週間投与しても、冷水負荷前後の足底部と尾部の血流量および直腸温度の変化には対照群と比較して有意な差は認められなかった。サーモグラフィーによる皮膚表面温度の観察では冷水負荷5分後において、クコ(1%,10%)及び美露仙寿(1%,10%)投与マウスの後肢から尾部の僅かな体温上昇が見られ、10分後にはクコ10%と美露仙寿10%投与マウスにおいて前肢から腹部の体温回復が認められた。美露仙寿及びクコエキスを2週間投与したマウスでは、美露仙寿10%群において冷水負荷前後の足底部の血流量の有意な回復が認められた。また、美露仙寿1%及び10%群において尾部の血流量のより速やかな回復が認められた。

【考察】 冷水負荷後の足底部や尾部の末梢の血流量や皮膚表面温度の回復率の低下は冷え症に大きく関与していると考えられる。美露仙寿は冷水負荷後のマウスの末梢血流量や皮膚表面温度の回復を促進させたことから、冷えに対する改善効果をもつ可能性が示唆された。